

狂風度リ高樹傷し易し邦家柱石ノ玉体渠し究
匪ノ狙フ所トナルト本月十八日報ヲ得テ直チ大
厚ニ昇ル刻既ニ移リ遂ニ拜款ノ榮ヲ辱フス
ルヲ得ズ雨來聲咳ニ接スルヲ得マシラ今日
至リ寒飈北地ニ吼ヘ改海急清湧ク報ヲ發程
ノ途ニ上リ浮ク越山ニ入ルアレントス 関下加邦家
尺ニクスノ衷誠ニ白志ノ士誓テ之ヲ我カ昊天ト
我カ辰エトト誦フルアレントス若夫時運ノ成敗
豫ノ測リ難し 関下ノ曾ラ白志ノ士ニ告ケルニ
リテヤ楫ニ臨ミ交リ制スル予ノ能ハ派ズ即
コ守リテ道ニ斃ルコト予ノ密カク期スル所ナリト
云フコト以テセラル是レ白志ノ士ガ今日ノ服膺シテ
忘ルコト能ハサル所ナリ僕 過チテ笑ハ函山ニ罹
リ 関下ノ高春ヲ辱カシメタルヤ明治十七年
本月二十五日ニ在リ残餘一縷、余ヲ繫ヒテ今
日、至ル維昔ヲ回想スルバ感慨何ゾ堪ヘン報
效ノ誠日ヲ期シテ輸スアレントス 冀ハクハ邦家
爲メ千金ノ自重ヲ望ム

明治廿二年十月念二 山田一郎 再拜